

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヴィストカレッジ富山県庁前		
○保護者評価実施期間	令和7年11月10日		～ 令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	100名	(回答者数) 73名
○従業者評価実施期間	令和7年11月10日		～ 令和7年11月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ニーズに基づいた個別支援計画の作成、支援の実施を行っている。	半年ごとの面談に加えて、保護者の要望に合わせて個別面談を実施したり、フィードバックの際に聞き取りを行うなど、丁寧なニーズの把握を心がけている。 支援を行う際は、要望にあった活動が設定できるように必ず個別支援計画、過去の記録を参照して活動計画の立案を行っている。	今後もニーズに合った支援ができるよう、定期的な面談に加え、要望に応じた面談の機会の提供を行ったり、スタッフ間での共有を図っていく。
2	毎回統一した支援ができるよう、支援内容やニーズの共有を密に行っている。	お子さんの様子で変わったことがあった際や支援で得られたアセスメント結果、新たに聞き取ったニーズがあった際などは、スタッフが閲覧するシステムや朝礼・終礼時に即時共有したり、エクセルシートに入力し掲示するなど、次の支援にすぐに活かせるようにしている。	現在実施している取り組みが漏れなく継続できるように実施していくとともに、情報の行き違い等がないよう、スタッフ間で声掛けを徹底していく。
3	個別・集団ともに、活動内容が固定化されないよう、新たなアイデアを出して取り組む工夫を行っている。	毎月スタッフ間でイベント内容のアイデア出しを行っており、新しい活動が積極的に取り入れられるようにしている。 職種が違うスタッフ同士、やっている支援内容等を積極的に話したり意見交換を行っている。 ニーズ調査を実施したうえで、個別支援と集団支援どちらも1つのワークで取り組める新たなクラスを創設した。	今後もスタッフ間でアイデア出しを行っていくとともに利用者の皆さんのお声も取り入れ、活動の企画・実施を行っていく。 集団+個別のクラスは来年度に向けたニーズ調査を実施後、要望があれば回数を増やして周知を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ない。	企画、広報を行ったものの、ニーズ調査を行う前の開催となってしまうため、人数が集まらず、開催自体が中止となってしまった。参加しやすい曜日や時間帯、希望の内容を調査した上で開催しなかったことが要因と考えられる。	ニーズ調査を行った上で、今の利用者の保護者様が求める内容、来所しやすい実施日時を検討した上で企画立案、周知、実施する。
2	部屋やエントランスの狭さ、駐車場の数が少ないなど、物理的な設備面の弱みがある。	・運動など、活動内容によっては広さが足りず、活動が制限が生まれてしまう。 ・利用者さんの受け入れの際に駐車場が空くまで路上で待っていただくなどのご不便をおかけしている。	・2つの部屋をつなげるなど、活動に応じて部屋の使い方を工夫する。 ・利用人数に寄って振り返りをLINEでお送りすることに切り替えるなど、スムーズな受け入れ、引き渡しができるよう臨機応変に対応していく。 ・現在、近隣のパーキングを利用された際の駐車料金の助成を行っており、それに加えて近隣の空き駐車場を有無を確認し、契約ができるよう準備を進めている。